

授業科目名	基礎看護学実習 (2300401)		
時間割名	基礎看護学実習 (70202)		
時間割担当	中馬成子 北島洋子 林文子		
実施期	前期	単位数	1 必修
曜日・時限	集中		

授業の目標・概要

看護の対象となる人々が生活する様々な環境を把握し、対象者のニーズについて考える。また、看護師のシャドーイングを行い、対象者とのコミュニケーション場面や援助場面の観察を通して、日常生活への理解を深め、看護の機能や役割について考える。看護場面の見学や実施（一部）を通して、看護の奥深さ、学習の必要性や重要性を理解し、学習者としての主体性を身につける。

学習の到達目標

1. 看護の対象となる人々が生活する環境を理解する。
 - 1) 外来・病棟・病室の見学をとおして、設備や機能を知る。
 - 2) 病院内における災害や事故防止対策を知る。
 - 3) 対象者にとっての人的な環境を知る。
 - 4) 保健医療チームにおける看護の役割を考える。
2. 対象者の1日の生活の概要を理解する。
3. 病院における看護職者の機能や役割を理解する。
4. 指導者や教員とともに、生活の援助技術を一部実施できる。
5. 主体的に行動し、自らの学習課題を発見する。

授業方法・形式

指定された病院で患者を受け持ち実習する

授業計画

1. グループ編成 1グループは4名～5名の学生を編成する。
2. 実習の進め方
 - 1) オリエンテーション
 - (1) 学内オリエンテーション 学内において、実習に必要な心構えや実習目的・方法等についてオリエンテーションを受ける。
 - (2) 病棟オリエンテーション 実習担当者から、実習に必要なオリエンテーションを受ける。
 - 2) 事前準備 実習の目的・目標を熟読し、既習の学習内容を事前に学習する。
 - 3) 事前・事後の学習内容
 - (1) 実習の目的・目標を参考にし、自己の行動目標を考え実習に臨む。
 - (2) ノートに事前に実習の準備を行う。
 - (3) 学習した内容はグループカンファレンスを通して共有する。
 - (4) 実習終了後には、提示されたテーマの課題レポートを提出する。
 - 4) 実習方法
 - (1) 実習は実習要項に従う。
 - (2) 実習は学内演習、実習、成果報告会から構成する。
 - (3) グループ毎にリーダーを決め、効果的な実習ができるようリーダーを中心に各メンバーが協力して行動する。
 - (4) 実習に必要な看護記録の閲覧は、実習施設の規定に従う。
 - (5) 看護師のシャドーイングや援助の実施（一部）を積極的に行う。
 - 5) カンファレンス
 - (1) 実習における学びや疑問な点をカンファレンスで発言し、学習の共有を図る
 - (2) 学生がカンファレンスのテーマを決め進行する。
 - (3) 実習場または学内において、1時間程度のカンファレンスを行う。
 - (4) 時間、テーマ、場所の報告を行い、実習指導者へカンファレンスへの参加を依頼する。
 - (5) 運営は学生が主体的に行い、実習指導者、教員から指導や助言を得る。

成績評価の基準

実習中の学習態度、実習記録、自己学習状況、カンファレンスへの参加状況、自己評価、成果報告などを総合的に評価する。

準備学習・復習及び授業時間外の課題

予習・復習を行い実習に臨み、不明な点についてはその場で積極的に質問し、理解を深める。

履修上のアドバイス及び留意点

本実習において、看護師によるケアを見学もしくは一部参加し、対象者と関わることを経験しながら、看護とは何かについて思考していく。

教材・教科書

関連する既習の専門基礎科目および基礎看護技術演習 で使用する教科書や授業で配布する資料を活用する。

参考書

必要に応じて、適宜紹介する。